

## 岐阜県看護協会 災害支援ナース活動報告

岐阜県看護協会の要請により、1月9日から12日まで能登半島地震にて被災した病院で災害支援活動を行いました。

1月5日に要請があり、早期に対応して頂いた当院の体制、また送り出してくれたスタッフの方々の後方支援に感謝しています。

今回は他施設の災害支援ナースとともに被災病院で勤務する看護職員の負担軽減のため、入院患者さんの看護を行いました。

金沢から普段の3倍の時間をかけ現地に到着すると、病院の建物やその周辺に大きな被害があり、エアコンが落下し天井に穴が空いていたり、いたるところに大きな段差ができていたり、断水のためトイレが使用できずおむつで対応したりと、被害は予想を超えていました。自ら被災されながらも病院で働いている看護職員の方々は、ライフラインの復旧もままならず、さらに限られた資源の中、必死に看護を続けていました。

我々災害支援ナースは少しでも負担を軽減するため病棟での看護をできる限り行い、その上で限られた期間のなかで自分たちにできることはないか協議し、現地のニーズに沿った活動(仮設トイレの安全や衛生状態を保つ、病院外来の廊下や椅子で避難生活を送っている高齢者の方の安全に配慮するなど)を行いました。

派遣期間を終えて無事帰宅してからは、今ある日常に感謝しながら、もしこの地域が被災した時に看護師として何ができるのか、何をすべきかを日々考えています。

これからも困難な状況の中で患者さんの健康を守るため看護を継続していくスタッフの方々に敬意を払うとともに、自身の身体とこころの健康が守られますよう願ってやみません。そして被災地の早期のライフライン復旧、町の復興を祈ります。

※災害支援ナースとは  
看護職能団体の一員として、被災した看護職員の心身の負担を軽減し支えるよう努めるとともに、被災者が健康レベルを維持できるように被災地で適切な医療・看護を提供する役割を担う看護職のことです。

